

令和5年度第1回田尻町総合教育会議 会議録

開催日時：	令和6年3月1日（金） 午後3時40分から午後5時30分	
開催場所：	田尻町教育センター2階 一般教室	
出席者：	栗山美政町長、馬野智俊教育長、堀江正也教育長職務代理者、 庄司直子教育委員、濱田智美教育委員、濱本愛実教育委員	計6名
欠席委員：	なし	計0名
事務局出席者：	小池総務部長、伊藤企画人権課長、高田企画人権課主任 米良教育部長、伊賀教育管理課長、田中教育管理課主幹 村下生涯学習課長、澤谷一貫教育推進課長、西文化・教育施設建設PT課長	計9名
意見聴取者：	なし	計0名
傍聴者：	あり	計1名

---

事務局： 皆様、こんにちは。ただいまから令和5年度 第1回 田尻町総合教育会議を開催いた  
(司会) します。

私は、本日の司会進行をさせていただきます企画人権課長の伊藤です。よろしくお願  
いします。

まず始めに、本会議の主催者であります栗山町長からあいさつをお願いします。

栗山町長： 【町長あいさつ】

事務局： ありがとうございます。

(司会) それでは、皆様、顔も十分ご存じかとは思いますが、改めまして自己紹介をお願いします。

【自己紹介】

引き続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

【事務局紹介】

それでは会議に入りたいと思います。ここからは町長に進行をお願いいたします。

栗山町長： 総合教育会議という事で、教育委員の皆様方と町当局としっかりと教育行政について  
情報を共有しながら、一緒に教育を前へ進めていこうというそういった趣旨です。基本的には教育委員の皆様方が、毎月色んな会議で一年間積み重ねてきていただいていると思  
います。そのあたりの報告、それから新年度に向けて新しい教育の方針に向けて、しっ  
かりと我々も前に進むように、予算の要求をこれから議会の方でやっていただけたらと  
思っております。それを踏まえて事務局の方から報告をお願いしたいと思います。

事務局： それでは今しがた第11回の田尻町教育委員会でご審議いただきまして、ご承認いただきました件につきまして、ご報告させていただきます。まずは、令和6年度の田尻町教育方針、田尻町の教育目標につきまして、ご審議いただきましたので、ご報告させていただきます。まずお手元の田尻町教育方針の案をご覧ください。長いですが、説明をさせていただきます。

社会全体を見渡すと、人口減少や少子高齢化、先端技術の社会への浸透、グローバル化のこれまで以上の進展、新たな感染症の流行等、VUCAの時代と称されるように、先行きが不透明で将来の予測が困難な未来社会を迎えようとしています。

このような将来においても、子どもたち一人ひとりが、自分の良さや可能性を見出すとともに、他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的課題に挑戦し、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会のづくり手となることが望まれます。

このような社会背景のもと、本町の未来を担う子どもたちの育ちと学びを連続してつなぐ「たじり一貫教育」の実現と、田尻町の文化の拠点となる総合文化センター整備事業を重要な柱として取り組みを進めて、本町の教育は大きく変わろうとしています。学校園教育・保育においては、「たじり一貫教育」の実現に向け、全教職員でめざす子どもの姿「自分の価値を見出し、よりよい未来を拓くたじりっ子」を共有し、こども園・小学校・中学校で一貫した教育活動の展開を進めています。

また、子どもの安全・安心が保障された環境のもとで、「人権が尊重される教育」「確かな学力の定着と学びの深化」「豊かな心と健やかな体の育成」「将来をみすえた自主性・自立性の育成」を実現する取り組みを推し進めて、「生きる力」を育てていきます。引き続き「たじり一貫教育」の充実に向け、有識者や専門家・保護者代表からなる「田尻町一貫教育審議会」をはじめ、教職員からなる「一貫教育準備委員会」、事務局と園小中合同組織からなる「IKKAN会議」での議論をもとに、教育カリキュラムの検討など老朽化する教育施設の整備事業も含めた教育環境の整備を計画的に進めていきます。

生涯学習においては、第3次田尻町生涯学習推進計画に基づき、人生100年時代、豊かな人生をおくることのできる環境整備をめざします。本町の子どもから高齢者まで各世代が集い、共に学び合える生涯学習の拠点施設として、総合文化センターの整備を進めていきます。

町民一人ひとりが、「いつでも、どこでも学び合える」そして、学びの成果を生かし、それを地域に還元できる地域のニーズに応じた学習機会が提供でき、併せて、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる環境づくりに努めていきます。

また、本町における生涯学習の活性化をめざすには、地域活動を担っている社会教育団体等との連携協力が不可欠です。そこで、自主運営や団体同士の連携強化に向けた支

援を行うなど活動しやすい環境づくりに努めていきます。

歴史・文化の振興については、歴史的文化的資産である田尻歴史館の認知度を高め、郷土愛の育成を図るなど誰からも愛される施設としての活用をめざします。

あらゆる教育分野において、積極的に情報を発信するとともに、ていねいに情報を受信することで、新しい時代にふさわしい教育環境を整備し、未来の田尻町を支える教育の実現をめざします。

続きまして、6年度の教育目標でございます。

これは大きく2点です。一点目が未来を拓くたじりっ子を育む学校園教育、そして一つ目が「たじり一貫教育」の推進。二つ目に学校園の教育力の充実、三点目に教職員の資質向上と学校組織づくり、四点目に安全で安心な教育環境の整備と充実、五点目に社会に開かれた学校園づくりと多様な主体との協働、それからもう一つの大きな柱としまして生涯学習の充実でございます。これは生涯学習推進計画に基づく施策の推進でございます。この一つには地域のニーズに応じた学習機会の提供、二点目に各種団体・組織の活性化と支援、三点目に総合文化センターの整備事業の推進、四点目に郷土の歴史・文化の理解と文化財の保存・活用と目標を掲げております。

以上、教育方針ならび教育目標につきまして審議し、大きく修正無しということでご意見いただき、先ほどご承認いただきまして、来年度の方針及び目標とした所でございます。併せて、来年のこれを踏まえた教育に関する事務の予算につきましても主要な部分を先だつてのプレス発表の資料から教育関係の資料を抜粋して、ご説明させていただきました。報告は以上でございます。

栗山町長： 教育委員の皆様方は、今しがたまでこれらについて色々ご意見いただいて、今、教育部長から報告いただいた形でまとまったんだろうと認識しています。今、教育部長の方から報告のあったような事で皆様方もそれで進めましょうということで決めていただいたんですね。

今までどうしても教育というと、いわゆる学校教育、エンゼルも含めてですけどもエンゼルから小学校・中学校の教育という事にどうしても目がいって、学校教育という範囲内での課題だとか話題だとか目標だとかが多かったと思います。もちろんそのおかげで、田尻町におきましては学校の先生も重点配置ができて、35人学級が実施できているほか、学校の機器材もかなり近隣の学校に比べると充実した形で進めさせていただいています。英検の補助といった制度についても、しっかりと皆様方が作り上げていただいて、そういった事も相まって田尻町の小学校・中学校の子どもたちは非常に素直にいい子に育っているだろうと思います。学力という意味でも、学力テストの結果を聞いてますと、みんな頑張っていると、大きな成果につながっていると喜んでます。もちろんそういった学校教育は基礎になりますけれども、学校教育だけではなく、いわゆる生涯教育といいますか、学校を出てから高齢者になるまで一緒に学ぶというか、一緒に趣味

を楽しむというか、そういったことをしっかりやっていく中で、人と人との繋がりが逆にできるし、田尻という地域に対する愛着もさらに生まれてきます。そういった事が色んな意味で地域活動の活性化に繋がっていく、まちづくりの一番の原点というかまちづくりの一番の基礎、エネルギーになっていくんだろとこんな風に私も思っています。ぜひ6年度からは学校教育に加えて、そういう社会教育・生涯学習というところにもしっかり教育委員会として目を向けるというか力を注いでいただいて、これから大きな意味での教育というか、まちづくりというかそういった所にしっかりと皆様方のお知恵を、お力をお借りしながら進めていければと、こんな風に感じてるところです。ぜひそういった事につきましても、これからまたご意見・ご提言いただいて、一緒にまちづくりのサポートをしていただけたらありがたいと思っています。私の方からよろしく願いしたいと思います。

事務局： 町長の発言に対して、もし何か教育委員の皆様方からせつかくの意見交換の場です（司会）で、何か町長に伝えたいことやご意見がございましたら、ご発言いただきたいと思いますが、どうでしょうか。

堀江委員： 文化センターの方は早めにやっていただかないと、今活動されている方もますます高齢になっていってしまう。ただ、町民の方が懸念されてるのは、今の公民館よりかは移動時間がちょっと長くなるということなので、バスのルートができたのであれば、バスの方も組み直してもらおうとか、そういう風にしてもらって利便性を考慮してほしいですね。他所からは、駅から近いので、便利かなとは思いますが。

栗山町長： このことについては、11月の選挙でお話ししましたが、皆様方からも信任を得たという事で、色んな意見が当然あるでしょうけども、信任を得させていただいたという事は、その意見の方が強かったであろうと思っています。当然そういった事について、今度の3月議会でも新しい年度の予算にそういった事も折り込んで、最終的には議会で我々が出した議案について承認をもらえないと前へ進みませんから、そんな話をしていって進めていくつもりで準備はしています。場所については、色んな意見があって、遠いとか色々ありますけど、田尻町はこんなに狭い町域の中で、端から端まで行っても、嘉祥寺の端から吉見の端まで、あるいは海の端から焼却場の上まで行っても全部1km強しかありません。数百メートルの範囲ですから、大きな市でわざわざそこへ行くのに電車に乗って行かないといけないとか、バスに乗って行かないといけないとかいうような距離ではないので、全てある意味歩いていける距離ですから、そういった意味では、田尻の町のまさにコンパクトタウンが私は逆にメリットだと思っています。嘉祥寺ばかり吉見ばかりというような形は現実できませんから、この小さな町の中でもバランス良く色んな施設を充実させていかないといけないだろうと、こんな思いです。今回、駅前の整備もやっと進みましたし、この4月から昨日お配りした町報に新しいバスのダイヤが入っていたと思いますけれど、今度やっと踏切が拡幅されるので、今まで駅上からコーナンの方にバスは行ってましたけど、駅上ではなく駅前のロータリーにバス停を4月から移します。本当はそこから役場の前を通ってコーナンの方へ行くのが一番の本当のルートです。しかし、まだ道がちょっと狭いんで一旦駅に入ってくるけど、もう一回また踏切

へ戻って、コーナンの方へ行くというのが暫定のルートなんです。もちろんそういう風に今度文化センターが何年か先にもし完成できたら、当然その場合にもバス停は作らなければならないだろうと私は今思っておりますけど、バス停をどこに作るのか、バス停がちょっと動いたらバスのダイヤが2、3分狂ってくるだとかいうのは、当然その時には発生しますので、簡単にはいきません。形はたじりっちバスですけど、南海ウィングバスが運営してくれてるんですよね。その南海ウィングバスが陸運局に許可を取って、バス停の場所を決めて運行をしてくれてる。その運行に対して泉佐野市と田尻町がお金を出して皆様方には無料で乗っていただいているような実態ですから、運営そのものはバス会社が全部やっています。だから我々はバス会社にバス停の移動を要請したり、バスのダイヤを要請したりするということで、来月からこうしてよってというように簡単にはいかないんです。バス会社も一応陸運局に申請を出して、許可をもらって、それで初めてバス停の移動だとか、バスのダイヤの変更が許可になるという事なので、電車のダイヤ編成だとか運賃改定だとか理屈は一緒なんですよ。陸運局に許可をもらわないといけいけないんです。バス会社と話をして、やっと今回、4月から駅の所にバス停を移すこととなります。今後もしそういう大きな施設ができて、そこにバス停が必要だということであれば、当然そういう要請を出してやっていくという事にはなるでしょうけど、今答えが出る訳ではないです。バスの運行は田尻町が独自でやってるから、何とかなるでしょうと住民の方が思いがちな部分もあると思うんですけど、実際はそういう形の中で運行しているという事です。今、堀江さんが言っていたそういう文化センターの事についても、しっかりと前へ進めていかないといけないと思っています。今までの経緯からして、議員の皆様方にもしっかりと理解をしていただいて、これまでの経緯もありますし、話をしながらやっていきますので、その辺は理解をしていただけたらと声を大きくしてしております。

その他、生涯教育に力を入れていくという事については、特に異論ないですよ。ご理解いただいていますよね。

濱田委員： できるだけ早く総合文化センターを前に進めていただいて、その後立派なホールで子どもたちにも本当の音楽、プロの音楽を聴かせてあげたいです。また、講演会なども魅力ある講演会であれば、田尻の人が結構聞きに来たり、例えば先日の蓮池さんの講演会でも、もっと会場が大きければもっとたくさんの方が聞きに来たんじゃないかとも思うし、色々その持って行き方でもっと魅力あるような講座をやっていただきたいと思います。

栗山町長： 子どもの教育で「ほんまもん」に触れさせるということで、数年前から夢先生というオリンピックに出たサッカー選手や、オリンピックに出たトランポリンの選手に中学校に来ていただいて、一時間目は体育館で一緒に身体を動かして、「わぁプロってのはすごいな」っていうことを実感して、二時間目は教室で「私も皆さんと同じように子どもの時からこんな夢を持って一生懸命やってきて、オリンピックに出ました。皆さんもしっかり夢を持ってしっかり勉強してください。」というような事を行う、夢先生という授業をずっと田尻ではやってきました。コロナの関係で、ここ2、3年やってないかな。

事務局： 今年度やりました。

(澤谷一貫教育推進課長)

栗山町長：　　いわゆる「ほんまもん」、人でも「ほんまもん」、芸術でも本当の美術館に行って「ほんまもん」の絵を観る。今おっしゃったように音楽でもレコードなど色々ありますが、「ほんまもん」のオーケストラの演奏を聴く。試合でも相撲でも野球でもテレビで色々見れるけど「ほんまもん」に触れるということが、やっぱり子どもの時の感動というのはものすごく大きいから、「ほんまもん」に触れるという事は大切にして教育に取り組んでいかないといけないとずっと思っています。もう一つ言いたいのは、先ほどの力を入れていくという話ですが、学校教育に力を入れてきたけれど、社会教育にはあんまり力を入れてこなかったというのは、逆に予算のかけかたでも、学校教育で今度こんな施設を作ります、先生を余分にいれます、こういう機器材を導入しますと言ったら、みんな子どものためなら買ってあげて、先生も余分に入れてあげてくれと言って、誰も反対しないです。ところが、社会教育で大人にお金をかけると言うと、それは勿体ないっていうのはまだまだ田尻の中に風土があるんです。今、その文化センターのような大きなものを建てようとしても、何でそんな施設にお金をかけるのかという意見が出ます。大人になってもそういった教育は大切で、子どもにお金をかけてきたのと同じように、これからは生涯教育という大人にも同じようにそういったものに対して、町だけがお金をかけるのではなく、自分も自分に投資するという言葉がありますけれども、そういった意味でお金をかけていただいて、一緒にこれからの人生を豊かにしていくというような、そういうまちづくりをしていく、そういう風土づくりを田尻町の町が、みんなが、豊かなこと、芸術・文化みたいなものを大切にする、「ほんまもん」を大事にする、音楽会があったら皆で聴きに行くというようなまちにしたいです。私、先日嬉しかったのは歴史館で定期的にイベントをやってくれているんですけど、先日はアンサンブルで3人の方が来てくれてイベントをやりました。あそこは狭いですから四十何人しか入らなかったんですけど、受付したら一日、二日ですぐ満員になって、その後何人か問い合わせがあったけども定員ですとお断りしました。私もちょうどその時行かしてもらって皆さんと一緒に音楽を聴かせてもらいました。あれだけの雰囲気の中で、3人が生演奏してくれました。もう少し大きなそういうホールなりコンサートであれば40人より後の人を断らずにたくさんの人に来ていただくことができたと思います。やっぱりそういう人たちがまだ田尻の中に本来たくさんいらっしゃるってことだと思うんですよ。ところが中々そういった事を発表できる機会というのが今まで少なかったですから、自分たちは自分たちでコツコツ、あるいはどっか泉の森ホールのコンサートに行ったり、大阪のフェスティバルホールにわざわざ行ったりという形になっていると思います。やっぱりそれはまたこの田尻の中でそういう形が発信できていけるような町になっていけば、田尻に住んでみたいな、住むなら田尻がいいなというような、そういう町に近づいていくんだろう、という風に私はそういう思いで今までも取り組んできましたし、これからもやっていきたいとは思っています。ぜひ、逆にしっかりお尻をたたいていただい

て応援していただいたら、前に進みやすいと思います。

それでは、6年度あるいはこれからの教育方針についての報告をやっていただいたことについて我々も共有できたと思います。それ以外その他について何かございますか。皆様方から特にありませんか。

各教育委員： (意見なし)

栗山町長： 教育委員さんの会議ですからお伝えしますが、実は3年間皆様方と一緒にやっていただけてました、教育長の馬野さんが、この3月末で任期満了になります。任期で退任されるということになります。新しい教育長さんにつきましては、今度の議会でこういう人を次の教育長にしたいという事で議会にかけます。これは何でもそうですけど、議会の承認を得ないと次に進みません。議会にかけるように準備して議案の中へ入れています。そういうところまで来てます。いずれにしても4月からは新しい形の体制になると思います。今日はそういう意味では教育長は皆様と一緒にするのは今日で最後ですかね。まだあるのかわかりませんが、皆様方に申させていたいただきたいと思います。

事務局： (司会) 会議の中でですね、教育委員の皆様から貴重なご意見をいただきまして、町長の方からもまたそれに対するご発言の方をいただきまして、ありがとうございました。今日は、皆様と意見交換をすることができ、本当に有意義な時間を過ごすことができたと思います。今後も、町行政の方に皆様教育委員といたしまして、ご協力の方をいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。会議につきましては以上となりますので、会議の最後に、教育長のほうから閉会のあいさつをお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

馬野教育長： 【教育長あいさつ】

事務局： (司会) ありがとうございました。それではこれで本日の会議を終了したいと思います。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

以上